

### 第3節 再生可能エネルギーを活用した地域づくり

再生可能エネルギーを活用した地域づくりのため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進をはじめとした各施策を実施します。

#### (1) 施策の基本的方向

本県は、豊富な温泉資源、森林資源、広大な海域、長い海岸線などの自然条件をはじめ、畜産業などの農林水産業が盛んであることなどから、多様で豊かな再生可能エネルギー資源が存在しています。

県ではこの恵まれた資源を最大限活用して、自然環境に配慮しつつ、再生可能エネルギーの導入を積極的に促進していきます。

また、地域の資源を地域で利用する「エネルギーの地産地消」を促進します。

#### 【環境指標】

項目	現況（令和元年度）	目標（令和4年度）
太陽光発電	1,981,963kW	2,970,000kW
風力発電	266,539kW	371,000kW
水力発電	263,523kW	277,000kW
地熱発電	66,795kW	71,000kW
バイオマス発電	139,045kW	228,000kW
海洋エネルギー発電	—	導入事例を数例作る
太陽熱利用	44,027kL	44,000kL
バイオマス熱利用	115,300kL	168,000kL
温泉熱利用	—	導入事例を増やす
地中熱利用	182kL	300kL
バイオマス燃料製造	152kL	500kL

#### (2) 施策

##### ① 地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進

- 自然環境に配慮しつつ、森林、畜産、温泉や広大な海域等に恵まれた、本県の多様で豊かな資源を最大限活用した再生可能エネルギーを導入します。

##### ② 県民・事業者・行政が一体となった再生可能エネルギーの導入促進

- 事業者による再生可能エネルギー導入を促進するとともに、県や市町村による公共施設への再生可能エネルギー導入を積極的に進めるなど、県民、事業者、行政がそれぞれの役割を担いながら、相互に連携して再生可能エネルギーの導入を促進します。

##### ③ 再生可能エネルギーに関する理解や意識の向上

- 再生可能エネルギーに関する情報等を収集し、県民、事業者、市町村等に提供することにより、再生可能エネルギーに関する理解や意識の向上に努めます。

##### ④ 再生可能エネルギーの優先利用による温室効果ガスの排出抑制

- 県民、事業者、行政は、その事業活動及び日常生活において、再生可能エネルギー等の優先的な利用を図り、温室効果ガスの排出抑制に努めます。

⑤ **地域資源の利用，再生可能エネルギーの企業・人材育成による雇用創出や地域の活性化**

- 地域の資源を地域で利用することや，再生可能エネルギーに関連する企業・人材の育成などにより，雇用の創出や地域の活性化につながります。

⑥ **地域と共生した再生可能エネルギーの適正な事業実施**

- 事業者に対して，再生可能エネルギーの導入に関する助言を行うとともに，関係法令や資源エネルギー庁が制定した「事業計画策定ガイドライン」等の遵守について指導を行い，地域と共生した適正な事業実施に努めます。



川内工場バイオマス発電施設  
(写真協力：中越パルプ工業(株))



山川バイナリー発電所  
(写真協力：九電みらいエナジー(株))